アイルランドのビール生産量、2025年に984万4,000ヘクトリットルへ増加 報告書

報告書によると、国内消費量は2.6%減少。輸出額は3億3,100万ユーロでほぼ横ばいだった

2026年11月24日（火）



Drinks Irelandが11月23日（月）に発表した業界報告書によると、国内需要が落ち込み、輸出収入もほぼ横ばいとなるなか、アイルランドのビール生産量は2025年に大幅に増加した。

業界団体によると、2025年の生産量は984万4,000ヘクトリットルに達し、2024年の907万4,000ヘクトリットルから増加した。増加幅は77万ヘクトリットル、率にして8.5%。Irish Beer Market Report 2025/26で公表された数値に基づく。

一方、国内市場は反対の動きを示した。国内消費量は2024年の358万7,000ヘクトリットルから、2025年には349万3,000ヘクトリットルに減少。9万4,000ヘクトリットル、率にして2.6%の減

少となった。

輸出収入の伸びはわずかだった。ビール輸出額は前年の3億3,000万ユーロから2025年には3億3,100万ユーロとなり、100万ユーロ、率にして0.3%増加した。同報告書の同じ要約表には比較可能な輸出数量データがなく、輸出額の変化だけでは、海外への出荷数量が増えたのか、製品構成が変わったのかは判断できない。

これらの数値を総合すると、生産量は国内消費量や輸出収入を大きく上回るペースで増加したことが分かる。報告書はこの差について説明していない。また、比較可能な在庫データも含まれていないため、年間を通じて醸造所が在庫を積み増したかどうかは、数値だけでは分からない。

Drinks Irelandによると、最も大きく伸びたのはノンアルコールビールだった。同団体の発表では、2025年のノンアルコールビールの販売量は12.5%増加し、このカテゴリーの生産量は約32%増えた。増加分をリットルやヘクトリットルに換算するために必要な当初の実数量は発表資料に記載されていないが、醸造業者はビール市場全体よりもはるかに速いペースで同カテゴリーの生産を拡大したことが示された。

報告書は、市場の動向を示す2つの指標を区別している。Drinks Irelandは発表の中で、2025年のビール販売量が2.5%減少したと述べた。一方、付属の表では国内消費量が2.6%減とされている。同団体はこれらを同一の指標として示しておらず、公表資料にも、発表内容だけで両者を同じ条件で照合できる月別内訳は掲載されていない。

データは2025年の暦年を対象とし、2024年と比較している。Drinks Irelandは今回の報告書を新たな刊行物と位置づけ、数値は複数の情報源に基づくと説明した。生産データは会員から提供された情報をもとにしており、消費量はRevenue、輸出額はEurostatの数値を用いたとしている。

今回の数値は、アイルランドの醸造業界が市場の動向にばらつきのある状況に直面するなかで公表された。生産量の増加は業界全体で醸造活動が活発化したことを示す一方、国内消費量の減少は国内需要の弱まりを示している。輸出額がほぼ横ばいだったことも慎重な見方を促す。醸造所がビールを大幅に増産したにもかかわらず、海外での収入にほとんど改善が見られなかったためだ。

報告書では輸出額をインフレ調整しておらず、同じ比較の中で輸出数量も示していないため、100万ユーロの増加から推測できることには限界がある。また、発表資料には年間総計の月別、販売経路別、輸出先市場別の内訳もない。